

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成21年 6月 14日

【評価実施概要】

事業所番号	2871400442		
法人名	株式会社ゆとり		
事業所名	グループホームゆとりの家		
所在地	〒669-2231 篠山市住吉台56番地3 (電話) 079-594-4341		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2009年5月11日	評価確定日	2009年6月14日

【情報提供票より】(2009年3月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 10人, 非常勤 4人, 常勤換算	8.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1・2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		800 円	

(4) 利用者の概要(3月16日現在)

利用者人数	9名	男性	名	女性	9名
要介護1	0名	要介護2		6名	
要介護3	1名	要介護4		2名	
要介護5	0名	要支援2		0名	
年齢	平均 85.22 歳	最低	77 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	にしき記念病院
---------	---------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・ゆとりの家は自然豊かな篠山市内の静かな住宅街にあり、民家改修型ホームである。隣接する公園からは鳥の鳴き声が聞かれ、ウォーキングや散歩する人などの挨拶は日常的に交わされている。高齢になっても障害を持っても安心して自分らしい生活が継続できる環境づくりのために、小規模で多機能なサービスを提供し、地域からの相談や要望を受け、さらに地域での情報発信機能の強化を目指している。代表者は利用者一人ひとりの命を尊び意志を尊重し、笑いの絶えない楽しいホーム生活を維持するために、職員の勤務体制や環境の充実に取り組む姿勢でいる。
--

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	・職員自らが、利用者に対する気づきやケアの実践、レクリエーション等を提案し、新たな取り組みを自発的に行っていく姿勢が見られるようになった。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	・自己評価は事務責任者がまとめた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	・ホームからは定期報告、地域代表等参加者からはボランティアの申し出など積極的な協力を得られ前向きな意見交換がなされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	・家族の意向や希望など些細なことでも文書に書いてもらい、それを受けて検討している。今のところ家族会はないが、家族同士の交流や意見交換のようなまとまった機会を持たれるよう望みたい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	・ふれあい喫茶や行事への定例参加、広報誌(ゆとり通信)は自治会から全戸に配布するなど、地域の住民として関わっている。地域在住の職員も多く、日常のやりとりから相談が多く寄せられ、地域からも期待されている。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・「住み慣れた地域生活の継続の支援」「日々の生活に社会参加を取り入れる」等の理念に沿って実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・職員雇用時に理念・方針等の理解及び意欲の確認をするとともに、常に相手の立場になって考え、振り返る姿勢を原点に、ミーティングで確認し、注意するよう努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域在住の職員も多く、付き合いは日常化している。広報誌（ゆとり通信）は毎月自治会配布物として全戸に配布し、「ふれあい喫茶」などの地域行事へは定例参加している。ボランティアの協力も多い。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価及び第三者評価を、日常業務全般の見直しの機会と捉え、改善点は、職員間で検討し取り組んでいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・地域自治会長、市担当課職員、介護相談員に家族が出席している。ボランティアの申し出など積極的支援が得られ協力関係はできている。認知症に関する相談に加え啓発などの情報発信機能を強化したいと考えている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・事業所開設前から、意見交換を重ねてきている。認知症の啓発や現状把握のための話し合いは随時持っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月、事務連絡に併せ通信や日常写真を添えて定期報告している。来訪された家族には職員は積極的に話しかけている。体調の変化などについては個別に電話している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族会は無いが、個別に要望等を文書でもらい、対応を検討している。</p>		<p>・行事等に家族の参加もあると思われるが、さらに家族間の交流機会の工夫を望みたい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・職員の働く意欲を高めることを重視し、個々の職員の家庭事情を考慮して体制作りをしている。やむおえない長期休業の場合には他の職員の協力体制により対応してきた。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・外部研修関係の情報は常時掲示して受講を促している。ミーティング時に具体的ケアについての研修も取り入れている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・市主催の運営協議会があり、施設、サービスごとの部会がある。職員の研修及び交流が計画的に行われており、情報交換の場として活用している。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・他の併設サービスの利用を通じて利用者、家族とは顔馴染みの関係が継続されており、その経緯から相談を受けホーム利用につながっている。体験利用やショート利用なども状況に応じて対応している。</p>		
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・利用者に教えてもらったり、気遣ってもらうことも多く、職員自身の振り返りや反省機会となることもある。常に、不安を感じさせないような声かけに注意している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・まず利用者の話しを傾聴し、さらに言葉のキャッチボールを繰り返すことで気づきや思いの把握に繋げるよう努めている。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・個々の利用者の生活暦を参考にし、日々のやり取りやしぐさから利用者の意向を客観的に捉え、本人の気持ちに添うよう作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・定期見直しは6ヶ月とし、現場職員が利用者の日々の状態変化をキャッチすると同時に把握した内容を職員間で検討し、利用者の現状にあった計画になるよう心がけている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・法人として、通所介護・居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護事業も展開しているので、多様な支援が可能である。通所介護とはレクリエーションや行事で交流を図り、利用者が閉じこもりにならないよう工夫している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・協力病院からの来診は月2回である。永年のかかりつけ医への受診希望の利用者に対しては、医師との情報交換を密に取っている。家族送迎ができないときは職員が代行している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・事業所が支援できるケアの限界については入所前に説明している。重度化が予測された時は病状を医師が説明し、看護職員が本人や家族と話し合いを重ね、ケアの継続に努めている。</p>		<p>・終末期の対応指針を作成し、本人・家族を含め関係者全員の意識と方針を統一しておくことが、安心と信頼の介護のためにも必要であろう。</p>
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・自分が嫌だと感じることはしないことを基本姿勢として、本人の誇りを傷つけないよう心がけている。個人情報については漏洩防止に細心の注意を払っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・買物や散歩などは体調や希望に合わせて柔軟に対応している。一人ひとり違う喜びがあるので、利用者それぞれの笑顔を見るための個別的援助を心がけている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・メニューは職員の案をもとに利用者の好みを取り入れて決定している。近隣から野菜等が届いた日は、利用者の意見で献立変更もある。食事の作業は利用者と一緒にいるが、下ごしらえなどは利用者から教わることが多い。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・週3回午後入浴としているが、入浴順については希望を確かめている。入浴介助中は安全面と羞恥心への配慮を心がけている。入浴を拒否する人には、体調と気分に応じた配慮しながら清拭するなど柔軟に対応している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・やりたい、役に立ちたいと思っている人にはできそうな仕事を頼み、言葉で感謝の気持ちを伝えている。利用者同士でいたわりの関係も生まれ、笑顔の広がりとなっている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・少人数に分かれて散歩や買物などに出掛けたり、地域の行事などには全員で参加している。日々の体調に配慮し、季節を楽しむことができるような外出の機会を作っている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・外部からの侵入者を防止するという安全面の配慮で、玄関の開錠は午後の決めた時間帯としている。運営推進委員会に諮り納得してもらっている。</p>		<p>・鍵をかけることの必要性和弊害については職員の共通認識とし、利用者が閉塞感を感じないような支援をしていただきたい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・消防署や自治会と連絡を取っている。</p>		<p>・夜間帯の避難方法などについては、緊急時の冷静沈着な行動のためにも日常的に職員間で確認してほしい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事量の記録をとり、食欲低下の利用者に対しては、食べやすく形態を変えたり好みのメニューを追加している。水分量の少ない時は医師の指示を受け、飲みやすい物などを用意している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・事業所は民家改修型であり、施設内は自宅であるという雰囲気をかもし出している。共有スペースにはゆったりとしたソファがあり、利用者は思い思いにくつろいでいる。和室からは庭の花壇が見渡せ、季節感を感じることができる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・居室の入口には表札として写真が掲示してある。部屋のカーテンの色は利用者や家族の好みで決め、室内の飾りつけとマッチしている例も見られた。</p>		

 は、重点項目。